

森の新聞

日本野鳥の会広島県支部



2013. 11・12

No. **189**

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html



11月

- 2(土) 連絡会 (18:30~)
縮景園 BW 初級講座 (広島市)
- 3(日) 太田川 BW 初級講座 (広島市)
- 10(日) 三篠川 BW 初級講座 (広島市)
- 17(日) 八幡川探鳥会 (広島市)
- 23(祝) 服部大池探鳥会 (福山市)
- " 広島城探鳥会 (広島市)
- 24(日) 太田川 BW 初級講座 (広島市)

12月

- 7(土) 連絡会 (18:30~)
- 15(日) 松永湾探鳥会 (福山市)
- 23(祝) 八幡川探鳥会 (広島市)
- 29(日) 支部事務所大掃除

1月 26日(日曜日)
13:00~ H26 年度総会 & 講演会&懇親会
三篠公民館(JR 横川駅そば)

連載 第1回

広島県の野生生物に関する取り組みについて

藤井(支部会員)

広島県では、野生生物に関する様々な取り組みを行っています。とは言っても、なかなか会員の皆さんもその内容を知る機会が無いですね。私は現在、県の野生生物に関する部署に所属しています。この機会に、県の取り組みの一部をご紹介します。

第1回目は、まずは野生生物に関連する法律をお話し、「生物多様性」に関する取り組みについて紹介します。

1 野生生物に関係する法律など

「野生生物に関係する法律」と言うと、鳥獣保護法(鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律)なら名前くらいは聞いたことがありますよね? でも、関係法律はとても多岐にわたるのです(図1 P3 に掲載)。全ての法律の基本になる環境基本法や生物多様性基本法。狩猟や鳥獣の保護管理に関する鳥獣保護法。外来生物の拡大や侵入を抑制する外来生物法、等々…。

これ以外にも鳥獣による農作物被害対策に関する法律もあります。

2 「生物多様性広島戦略」

最近よく聞く言葉、「生物多様性」。これは、一言で言えば 生きものの「つながり」と「個性」のことです。

①「つながり」:食物連鎖や共生関係、寄生関係、生態系のつながりなど、生きもの同士のつながりや世代を超えた命のつながりのこと

②「個性」:さまざまな種があること、同じ種であっても個体それぞれが少しずつ違うことや、それぞれの地域に特有の生態系があること

「つながり」と「個性」は、長い進化の歴史により創り上げられてきたものであり、一度失われると再生できないものが多くあります。こうした側面を持つ「生物多様性」が以下の4つの恵みを通して、人間を始めとした地球上の命と暮らしを支えています。

- ① 供給サービス : 多様な素材の提供
- ② 調整サービス : 水質浄化や洪水調整などで暮らしを守る
- ③ 文化的サービス: 観光や憩いの場
- ④ 基盤サービス : 光合成による酸素などで生命を支える

一方で、この生物多様性に対して、以下の4つの危機(脅威)も存在しています。

- ① 過度の捕獲採取や乱開発による危機
- ② 自然に対する人間活動の縮小・撤退による危機
- ③ 人間により持ち込まれたものによる危機
- ④ 地球環境の変化による影響

こうして我々に様々な恩恵を与え、また脅威にさらされている「生物多様性」に対して、国では、生物多様性基本法に基づき平成7年に初めて「生物多様性国家戦略」を策定しました。（最新の戦略は平成24年に策定。詳しくは環境省のサイトを参照）

広島県ではその広島県版として、平成25年3月、県内の生物多様性の保全を図り、総合的な施策を盛り込んだ「未来へつなげ命の環！ 広島プラン～生物多様性広島戦略～」を策定しました。

「生物多様性広島戦略」では、生物多様性がもたらす豊かな恵みを将来の世代に継承できる人間と自然が共生する社会の実現を目指すこととしており、県民一人ひとりが生物多様性の重要性和その恵みを認識し、生物多様性に配慮したライフスタイルが社会に定着しており、生物多様性を地域資源として将来の世代に継承できる人間の社会経済活動と自然環境が調和する魅力あふれる地域社会が構築されることを目指すこととしています。

このため、戦略では3つの目標と15の行動計画を定めており（図2 P3 に掲載）、我々県民は以下の3つのことを心がけていくことを呼びかけています。

- ① 知る** : 私たちの暮らしと、さまざまな生き物との関わり合いを知る。
〔例 観察会、体験活動などへの参加、等〕
- ② 行動する** : 生命のつながりと関わり合いを守るために行動を起こす。
〔例 モニタリング活動、保全活動への参加、外来生物の拡大防止、等〕
- ③ つなげる** : 生物多様性の恵みを将来の世代に分かち合うよう努める。
〔例 負荷の小さいライフスタイル、再生可能エネルギー、
野生鳥獣を人里に近づけない、等〕

野鳥だけではなく、我々の生活の全てが生物多様性につながっていると言っても過言ではないのかも知れませんが、長文なので読むにはちょっとだけ？ 気合いがいるかも知れませんが、是非一度は戦略を読んでいただき、皆さん1人1人が、ご自身ができるところから少しでも活動をしていただければと思います。

（参考） ・環境省の生物多様性に関するサイト <http://www.biodic.go.jp/biodiversity/>
・生物多様性広島戦略のサイト <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/biodiversity.html>

図1 野生生物に関する法体系(環境省関係分のみ)

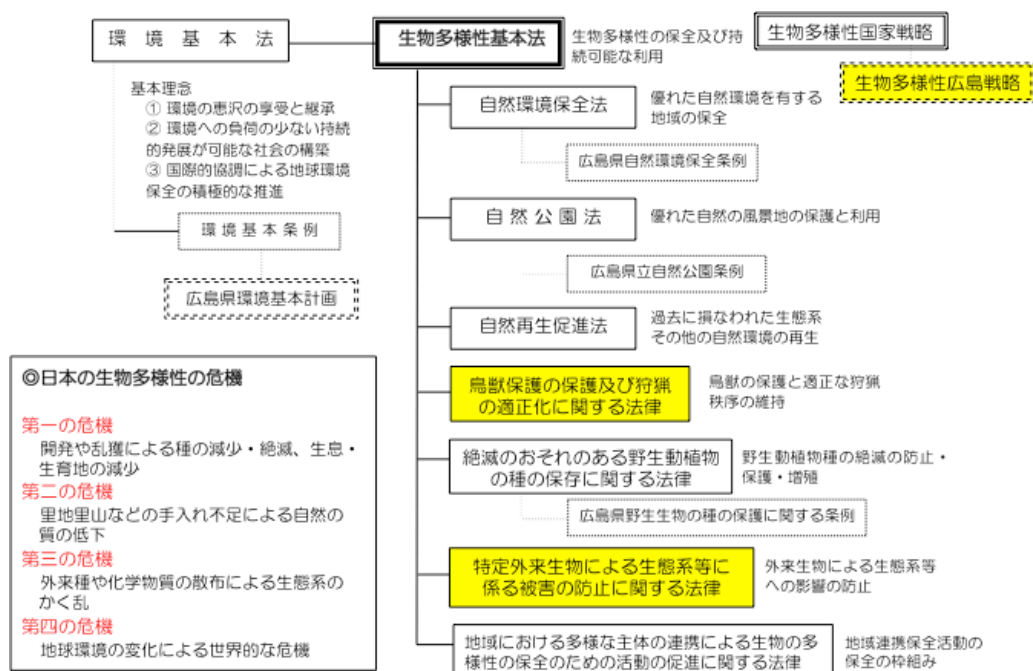


図2 生物多様性広島戦略における3つの目標と15の戦略

目標1 生物多様性の重要性を認識し、多様な主体の参画により保全活動する社会

- 戦略 1 県民の生物多様性に関する理解を促進し、保護意識を醸成する
- 戦略 2 多様な主体の参画と協働による生物多様性保全活動の体制を整備する

目標2 生物多様性を把握し、豊かな生命のつながりを保全する社会

- 戦略 3 生物多様性の状況を把握し、対策を立てる
- 戦略 4 絶滅のおそれのある野生生物や重要な生態系を保全する
- 戦略 5 生物多様性に配慮した土地利用を図る

目標3 生物多様性がもたらす恵みを将来の世代にわたって分かち合う社会

- 戦略 6 環境負荷を抑え、生物多様性の恩恵の持続可能な利用を図る
- 戦略 7 人と野生鳥獣の調和的共存を図る
- 戦略 8 生物多様性の恵みを再評価し、新たな価値を創造する

藤井さんには、190号で「鳥獣保護法関係」、191号で「外来生物関係」の寄稿を予定していただいています。具体的なお話は、1月26日の総会後に開催される講演会で詳しくうかがえるものと思います。お楽しみに。(光本)

連載エッセイ

⑧コウノトリが来たよ ～フールドでサプライズ～

中崎

我がフィールドに、なんと、コウノトリが2羽来た。

いや、来てくださった。平成25年10月20日(日)のことである。場所は現在のフィールド東広島市の東側、国道2号線の近くにある小さなため池である。まもなく日が沈みそうな時刻だった。

細い山道を抜けたら、山かげの小暗いため池に大きな白い鳥がいた。見つけた瞬間は、大きさを錯覚してサギかアヒルかと思った。しかし次の瞬間、正真正銘のコウノトリが私の目の前にいた。双眼鏡を使うまでもなかった。



黒い風切り羽、赤い脚、目の周囲の皮膚が露出した部分…、コウノトリの特徴を一つずつ確認しながら、私の頭の中では別のことも確認していた。鳥の記録に関して、やっておかねばならないことがある。以下、すべきこと(と、パニック…)の覚書。

- ① 2羽とも足環をしている。足環の色を記録しとかなくちゃ!
- ② 年月日・時間・場所・天候・環境・観察者。これは大丈夫、記録用紙に書いてある。
- ③ そして、写真を撮らなければ…。写真!! ギャーカメラ持ってない!
 - そしたら誰かを呼ぼう。でもどーやって? (ケータイ持たない悲劇)
 - そーだ電話、公衆電話のあるコンビニを探そう! (ケータイ(以下略))
 - 誰に来てもらえば…? 電話番号あったっけ? (ケータイ(以下略))
 - わ、早くしないと日が暮れるう。

あつ野鳥の会の事務所の電話番号があった!

こんな状態で、国道沿いのコンビニエンスストアに飛び込んだ。運良く公衆電話があったので、たまたま事務所当番をしていらしたK氏に事情を話し、何人かの連絡先を教えていただいた。ベテランのH氏が、たまたま近くを車で移動中だったのは、全く運の良いことであった。日頃善行を心掛けていると、このような幸運に恵まれるのである。

ケータイなんか持っていなくて、立派にやっていけるのだ。(周囲の迷惑を考えていない件)

H氏のカメラに2羽のコウノトリが無事おさまって、私はようやく落ち着くことができた。県初記録ではなかったのは少々残念だったが、貴重な記録をゲットすることができた。

フィールド調査の喜びは「いつもの鳥にいつものように会える」こと、これに尽きる。だが、たまにはこんなサプライズがあるとモチベーションが上がるし、「もっといいねいに見なきゃ」という意識も高まる。そして、「カメラやケータイを持つほうがいいかな……」と、ちょっぴり思う。

(「ぜひ持ってください」←と、どこかから影の声が聞こえるような)

最後に、この件でお世話になった方々に、この場を借りてお礼申し上げます。また、総会に「コウノトリ観察記念品」を提供しようと思っていますので、ご来場の皆さまどうぞお楽しみに。

2013秋のシギ・チドリ渡り調査

結果報告(速報)

報告者: 日比野

■報告があった記録をそのまま記載しています。そのため全てが公式記録となるものではありません。

集中調査日:9月15日前後1週間														
調査地NO	2 御手洗川	3 可愛川	4 岡の下川	5 八幡川	6 太田放水路	7 広島大川	8 西条松原	9 沼田川中流	沼田川河口	10 松永湾	合 計	2 御手洗川	8 西条松原	9 沼田川中流
市	廿日市	廿日市	広島	広島	広島	呉	東広島	三原	三原	福山		廿日市	東広島	三原
種類 調査日	9/15	9/15	9/15	9/16	9/15	9/15	9/16	9/15	9/15	9/14		9/16-10/1	8/2-10/5	9/9
タマシギ								2			2		8	
コチドリ										10	10		2	
シロチドリ	23		3							31	57			
メダイチドリ	2										2			
オオメダイチドリ										3	3			
ダイゼン										6	6			
ケリ							27	7		10	44		47	
トウネン						2				9	11			
ハマシギ										6	6			
オハシギ										1	1			
アオアシシギ										12	12			
クサシギ							9			2	11		16	
タカブシギ														6
キアシシギ	2		1							9	12	1		
イソシギ	2	3	1		1	6		3	3	12	31	1	1	
ソリハシギ	2		1			10				84	97	2		
オオソリハシギ										1	1			
チュウシャクシギ				1						1	2	1		
ホウロクシギ										1	1			
タシギ							10	15		2	27		28	
チュウジシギ							1			1	2		1	
オオジシギ													2	
計	31	3	6	1	1	18	47	27	3	201	338	5	105	6
種数	5	1	4	1	1	3	4	4	1	18	20	4	8	1
調査者	住田			清掃探鳥会	中崎	森山	木本	内海		渡辺		日比野/大西	木本	内海

調査に参加いただいた方々ありがとうございました。

上記以外のデータを手元にお持ちの方は事務所または担当までお寄せください。

回覧板です！

★ガン・カモ 一斉調査、協力者募集！

今シーズンも環境省・広島県の調査に広島県支部が協力する、「2014 ガン・カモ・ハクヨウ類一斉調査」を実施します。皆さまのご協力をお願いします。

- ・調査期間 : 2014 年 (H26 年) 1 月 5 日 (日) ~19 日 (日)
- ・調査箇所 : 2012、2013 年調査箇所と同様箇所
- ・調査対象 : カワウ、カイツブリ類、ヘラサギ類、ズグロカモメ含む
ガン・カモ・ハクチョウ類です。

■お願い

- ①13 年の調査を担当された方で、14 年も同様の調査を継続することが出来ない場合、2013 年 11 月 30 日 (土) までに下の連絡先担当までご連絡ください。
- ②新たに、ガンカモ調査を担当いただける方募集中です。
 - ・フィールドにしている場所でガンカモ調査をして頂ける方
 - ・ガンカモ調査を他の担当者と一緒に行ってみたい方
 - ・調査期間中に調査が可能で県内のガンカモ渡来地で調査していただける方

連絡先: 〒733-0011 広島市西区横川3-9-3小田ビル
野鳥の会広島県支部 ガンカモ調査担当
電話ファックス 082-233-7304
または 日比野メール

★「広島城探鳥会」

来年2014年から定例化して開催します。

広島市街中にある広島城城址公園での探鳥会です。

開催は「2月からの偶数月、隔月第一土曜日」

- ①集合時間: 9:00
- ②集合場所: 護国神社前の売店集合
- ③解散予定: 11:00
- ④コース内容: お堀の内側を1周
- ⑤観察可能種: ヒヨドリ、エナガ、シジュウカラ、ムクドリなど(留鳥)
シロハラ、シメ、ホシハジロ・キンクロハジロなどカモ類(冬鳥)
- ⑥担当者: 倉岡

★初心者リーダーですからサポートよろしくお願い致します。

回覧板です！

★ サギ類・カワウ生息状況調査、御礼

187、188 号に掲載いたしましたサギ類とカワウの生息状況調査にご協力いただき、ありがとうございました。

サギ類、カワウは人間の経済活動に影響あるものとされ、害鳥獣として「駆除」の対象になっておりますが、その生息実態はまだまだ十分に把握されているとは言い難い状況にあります。県支部としては、今後も継続的な調査を実施し、確かな科学的データを蓄積することで、サギ類・カワウの保護に役立てたいと考えています。今後とも調査にご協力いただきますようお願いいたします。

■調査結果速報■

カワウ「ねぐら」「コロニー」調査	データ件数	7 件	提供者	5 名
サギ類「コロニー」調査	データ件数	6 件	提供者	5 名

☞担当：光本

★ ツル飛来情報、募集中！

日本野鳥の会本部が、国内のツル保護のためにツルの飛来状況を調べています。2013（平成 25）年 10 月から来年の 3 月末までの間に、広島県内でツルを観察された方がおられましたら、電話でも構いませんので担当までご連絡下さい。

■調査項目■

- ・市町村名 ・地名（できるだけ詳しく）
- ・ツルの種類 ・羽数（成鳥・幼鳥の別）
- ・観察期間 ・生息環境（水田、河川等）
- ・生息状況（採餌内容、ねぐらの場所等）
- ・生息を脅かす要因（猟銃使用、人の接近など）
- ・情報提供者氏名

☞担当：光本

回覧板です！

★平成26年度 総会 & 講演会

平成26年度の支部総会を1月26日(日)に広島市西区の三篠公民館にて開催します。
講演会は、広島県環境県民局自然環境課野生生物グループの藤井猛さん(支部会員)を講師としてお招きし、広島県における野生生物保護の状況について、分かりやすくご講演いただく予定です。

- 「総会案内」、「議決議案」、「総会アトラクション」の内容等は次号に詳しく掲載します。
- 総会議案として審議を要請される案件がありましたら、支部までご連絡下さい。
- お誘い合わせのうえ、ぜひ多数ご参加ください。

★ 支部役員・ヘルパー、募集中！

来年度の事業計画を立案する時期になりましたが、現在支部においては支部事業を実施するための人員が圧倒的に不足しています。

「出来ることから」、「出来る事だけ」で結構です。是非会員の皆さまの力をお貸しください。

- 例■
 - ・保護活動担当～自然保護に関わる支部事業・調査活動の企画運営
 - ・会員管理 ～支部会員の名簿、入退会管理
 - ・事務所管理 ～事務所当番の割当、物品や文書管理、清掃など
 - ・探鳥会企画 ～探鳥会の開催企画とその調整
 - ・会報編集 ～執筆者から寄せられた原稿を雛型に沿って修正 など
 - ・支部事業企画担当 ～ミニバードソンの企画運営 等々

★ 森の新聞PDF配信希望者、募集中！

支部経費削減の一環として、会報のPDF配信の希望者を募っております。
1名で年間540円(90円×6回)の郵送費と、印刷費・封筒詰め作業労力が削減されます。皆様のご協力をお願いします。

■PDF配信の特典■

- ・紙面の野鳥写真が総天然色(古う~~~~)で配信されます。
- ・ときどき「オマケ」が配信されます。



図書館だより

【寄贈本・DVD】

「高原の自然史」 高原の自然館研究報告第15号 2013年3月

高原の自然史編集委員会 高原自然館(北広島町)発行 A4判 122頁 上野吉雄氏寄贈
論文—臥竜山での1998～2008年鳥類標識調査、
報告—灰塚ダム知和ウエットランドの鳥類相etc
短報—北広島町でのクロハラアジサシ、広島県におけるナベコウの初記録etc 鳥類関係が豊富です。

「御調八幡宮拝殿の天井絵」DVD 2013年5月 三好邦範氏解説

備後国総鎮護の御調(みつき)八幡宮は、県中央部に位置し、古く奈良時代に創設され、拝殿の天井絵は250枚、多数の動植物が彩色され描かれており、少々古びているが、三好氏の造詣深い学識で、鳥類は約90種(鳳凰からカワセミまで多岐に)鑑定識別された。

■上田恵介先生(立教大学理学部生命理)学科教授)からの寄贈本

「とりぱん」1・2・3 とりのなん子著 講談社 A5判 各127頁

「カラスの常識」柴田佳秀著 寺子屋新書 こどもの未来社 237頁

オーストラリアの自然について4種の本

「Wet Tropics Rainforest」 「Tropical Birds」 「Butterflies」

以上3種はClifford&Dawn Frith著 A4判71頁

「LYRE BIRD(コトトリ)」 L.H.Smith著 B5判 178頁

「DODO」(大きな飛べない鳥,1505年発見1687年絶滅、マダガスカル沖のモーリシャス島)、2冊

「THE BIRD THAT DREW THE SHORT STRAW」 Jan den Hengst著 Art Revisited

「THE BIRD BENEATH THE LEGEND」 Alan Grihaults著 IPC Ltd発行

【購入本】

「空飛ぶ漁師カワウとヒトとの上手な付き合い方」

—被害の真相とその解決策を探る

坪井潤一著 日本水産学会監修 成山堂書店 B6判138頁

カワウはかつては絶滅が危ぶまれたが、現在10万羽!! アユなどの放流魚が食べられる水産被害とねぐらになる森林が糞害で枯死。嘆かわしく見えるカワウですが、著者(山梨県水産技術センター)の新しく暖かい視点から、上手に付き合うためのポイントが多く示されています。

探鳥会のご案内

11月・12月のフィールド也大賑わい！

■水辺では、じっくり観察できるカモ達が、日に日に美しくなっています！

■冬の小鳥達も続々飛来中。愛らしい小鳥があなたの身近なフィールドに滞在中です。

初心者入門には絶好の季節。野鳥観察を楽しみましょう！

◇探鳥会には、会員・非会員の別なく参加できます。

◇参加の事前申し込みは不要です。

案内に記載された「集合場所」にお集まりください。

◇雨天の場合は中止。怪しい場合は集合地点まで。

◇参加費は200円です。(中学生以下、無料)

◇小学生以下の参加は、保護者同伴をお願いします。

◇自然観察では「やさしいもち」(P12掲載)を励行し、自然へのローインパクトを心がけましょう。

◆記載内容

- | | |
|-------|-----------|
| ①集合時間 | ④コース内容 |
| ②集合場所 | ⑤観察可能種 |
| ③解散予定 | ⑥その他 |
| | ⑦担当者(TEL) |



イラスト：まつもとみちお氏(会員)

● 庭園でバードウォッチング入門講座

No. 1888 縮景園 BW 初級講座⑦ 11 / 2 (土)

名勝「縮景園」での入門講座開講です。

秋に彩られた庭園をのんびり散策しながら、「野鳥の発見方法」「識別方法」「観察のマナー」「双眼鏡の使い方」などをレクチャーします。身近な野鳥達をじっくり観察してみましょう。(広島市中区)

■縮景園への入場料が別途必要です

①9:10

②各自入場料を支払った後、園内芝生広場に集合

③11:30 ④庭園内を散策

⑤シジュウカラ・エナガ・ジョウビタキ
カワセミ(1)・サギ類・カモメ類 等

⑥初心者対象の観察会です。

案内ボランティアさん大歓迎です！

⑦光本

● あなたも今日からバードウォッチャー！

No. 1889 太田川 BW 初級講座⑧ 11 / 3 (日)

広島市の街中にも、素晴らしい野鳥達が数多く暮らしています。そんな野鳥を観察してみたい貴方のために野鳥観察入門講座を開講します。

川沿いでカモメやカモを観察し、公園の木々に愛らしい冬の小鳥達を探します。身近な自然の奥深さを経験してみませんか？ (広島市中区)

⑥初心者対象の観察会です。双眼鏡の使い方や野鳥の見つけ方、名前の調べ方まで、ユックリ解説します。

● 少し郊外で、楽しいハイキングBW！

No. 1890 三篠川 BW 初級講座⑨ 11 / 10 (日)

野鳥観察と難しい顔をした案内人に少し馴染んでいただいた皆様を、郊外の環境にご案内するハイキング探鳥会です。

芸備線に揺られて数駅で素敵な郊外の景色が広がり、都市部とは一味違うバードウォッチングが経験できるはず。三篠川を眺めながらひと駅分だけハイキングしてみませんか？ (広島市安佐北区)

■解散まで特に昼食時間は設定しませんが、解散後、川土手でお弁当をパクつくのも一興かも？

⑦光本

● カモ類が勢ぞろい！

No. 1891 八幡川探鳥会 11 / 17 (日)

佐伯区八幡川河口の人工干潟に、北の国から渡りを終えたカモ類が大集結。地味なエクリプスから美しい繁殖羽に変わりつつあるカモ類と、カモメ・サギなど水辺の野鳥達をじっくり観察しましょう。

(広島市佐伯区)

①9:30②みずとりの浜公園東端のベンチ周辺に集合

③12:00 人工干潟近くで解散

④堤防沿い・埋立地内を、約3km程度歩いて探鳥。

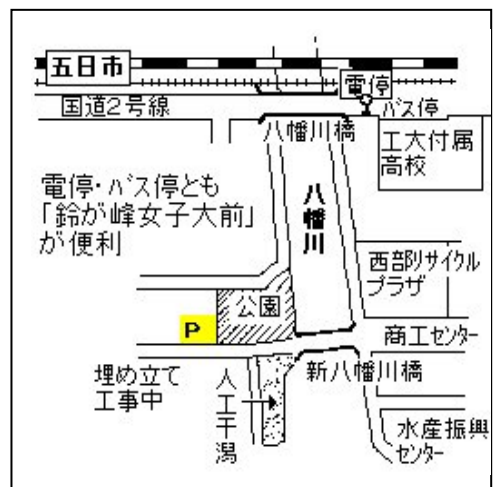
⑤数百羽、10種類超のカモ類、カモメ類、サギ類など

⑥飲料持参、雨天決行

⑦日比野

- ①9:00 ②アストラム白島駅改札外
- ③12:00 ④駅～ホームテレビ裏～
工兵橋～長寿園～駅
- ⑤シジュウカラ・エナガ・ジョウビタキ
ハクセキレイ・サギ類・カモメ類 等
- ⑥入門者案内係のボランティアさん、
大歓迎です。是非お力を！
- ⑦光本

- ①9:00
- ②JR 上深川駅集合。駐車場、無し。
広島駅 8:15 発の列車に乗車ください。
- ③12:00 中深川駅で解散
12:27 広島行列車があります
- ④川沿いに歩いて自然散策。
- ⑤モズ・ジョウビタキなどの冬の小鳥、
カモ類、サギ類など水辺の野鳥
カワセミ・ヤマセミにも会えるかも？
- ⑥初心者対象の観察会です。
案内ボランティアさんは、是非スコ
ープをご持参ください。



● オシドリと山の鳥に会いに

No. 1892 服部大池探鳥会 1 1 / 2 3 (土祝)

イチョウ羽に飾られたオシドリや、ナポレオンハットのヨシガモなど、美しいカモ類が集まる福山市駅屋町・服部大池と、周辺の秋を探鳥します。
アオジやアトリ・ルリビタキなど、山の小鳥たちも探してみましょう。(福山市)

- ①9:00 ②服部大池駐車場
- ③12:00
- ④池周辺の野鳥を観察した後、車で移動しながら野鳥観察。
- ⑤マガモ・オシドリ・ヨシガモ
アオジ・アトリ・ルリビタキ等、期待
- ⑥コースは状況に応じて変わります。
- ⑦三好

● 来年からは定例化！

No. 1893 広島城探鳥会 1 1 / 2 3 (土祝)

広島市街中にある広島城址公園での探鳥会です。
笑顔ですり寄ってくるホシハジロや、公園内で越冬する、お馴染みの野鳥達を観察しましょう。
(広島市中区)

- ①9:00
- ②護国神社前の売店集合
- ③11:00 ④お堀の内側を一周
- ⑤ヒヨドリ・エナガ・シジュウカラ(留鳥)
シロハラ・シメ・ホシハジロ等(冬鳥)
- ⑦倉岡

● 最終回は、やっぱり太田川

No. 1894 太田川 BW 初級講座⑩ 1 1 / 2 4 (日)

BW 初級講座の最終回は、基本に戻って太田川での開講です。(コースは少し変わります)
太田川のフィールドは11月初旬から何か変化しているでしょうか？初心者の方々が「中級者」までステップアップ出来ているでしょうか？これまでの初級講座の内容を振り返りながら、冬鳥の生活ぶりをゆっくり観察しましょう。(広島市中区)

- ①9:00 ②アストラム白島駅改札外
- ③12:00 ④駅～長寿園～工兵橋～
川沿いを歩いて～不動院駅
前回より少し余計に歩きます
- ⑤シジュウカラ・エナガ・ジョウビタキ
ハクセキレイ・サギ類 等
- ⑥初心者対象の観察会です。
会員の案内ボランティア募集中です。
スコープ持参で参加ください。
- ⑦光本

秋のバードウォッチング(BW)初級講座について

バードウォッチングを楽しむ方法をお伝えする入門講座の秋バージョンです。
全編、完全初心者対応でゆっくり丁寧に進行する予定です。集中開催いたしますので、可能でしたら連続してご参加ください。

- 事前の参加申し込みは不要です。
- 野鳥の会への未入会者、大歓迎です
- 参加費は200円です。小学生は無料ですが必ず保護者同伴をお願いします。
- 双眼鏡をお持ちでない方には、無料で貸出しができます。(要、事前連絡)
- 双眼鏡を使うために、両手が空くように荷物を工夫してください。
- 軽いハイキング程度の服装で、寒くないようお気を付け下さい。
- 団体行動中の野鳥写真撮影はご遠慮ください。

連絡先：光本正伯 m_komoto@nifty.com もしくは携帯まで

● 河口の冬鳥ウォッチング

No. 1895 松永湾探鳥会 12 / 15 (日)

福山市の松永湾・藤井川・本郷川河口に広がる水面に、冬の水鳥達を探しましょう。カモ類やカモメ類・サギ類、越冬中のシギチの姿にも会えるかもしれません。初心者の方大歓迎です。(福山市)

- ①9:00 ②「ゆめタウン」南の浄化センター南側。
③12:00 ④集合場所で干潟を観察した後、車に分乗して藤井川河口に移動し、徒歩で観察。

■水辺の探鳥会です。風を通さない服装でご参加ください。

■JR で来られる方は、遠慮なく担当者にご連絡下さい。JR 松永駅南口まで送迎が可能です。

■双眼鏡の貸出し、あります。

⑥カモ類カモメ類サギ類など、水辺の野鳥を沢山

⑦渡辺

● 河口の冬鳥ウォッチング パート2

No. 1896 八幡川探鳥会 12 / 23 (月祝)

平成 25 年最後の探鳥会も八幡川です。河口干潟や埋立地内で沢山の鳥達を観察した後、持ち寄ったご馳走を囲みながら屋外での忘年「茶話会」を開催します。

今年出合った野鳥たちの話など、1 年を振り返る楽しいひとときを過ごしましょう。

■内容は、No1891 と同様です。

●飲み物・食べ物の差し入れ、
大歓迎!

⑦日比野

★新年の開催予定

■1月 5日 八幡川探鳥会

■1月12日 笠岡湾干拓地探鳥会

その他鋭意企画中



マナーツル

【や・さ・し・い・き・も・ち】

- や 野外活動は無理なく楽しく
さ 採取は控えて、自然はそのままに
し 静かに、そーっと
い 一本道、道からはずれないで
き 気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑
も 持って帰ろう、思い出とゴミ
ち 近づかないで、野鳥の巣

※日本野鳥の会の「マナー標語」です

「き」の、『人への迷惑』って ナンのことじゃ？

皆さんが子どものころから身につけてきた、日本の一般社会のマナーと何も変わることはありません。地域の方たちへのマナーも、観察者間でのマナーも、正解は貴方の心の中にあるはず・・・ですね。(光本)

野鳥情報

受付期間:	I, II	2013/8/5 ~ 2013/9/21
	III	2013/8/10 ~ 2013/10/11
報告者数:	2 名	種数: 7 種 件数: 7 件

※番外 0 件を除く。

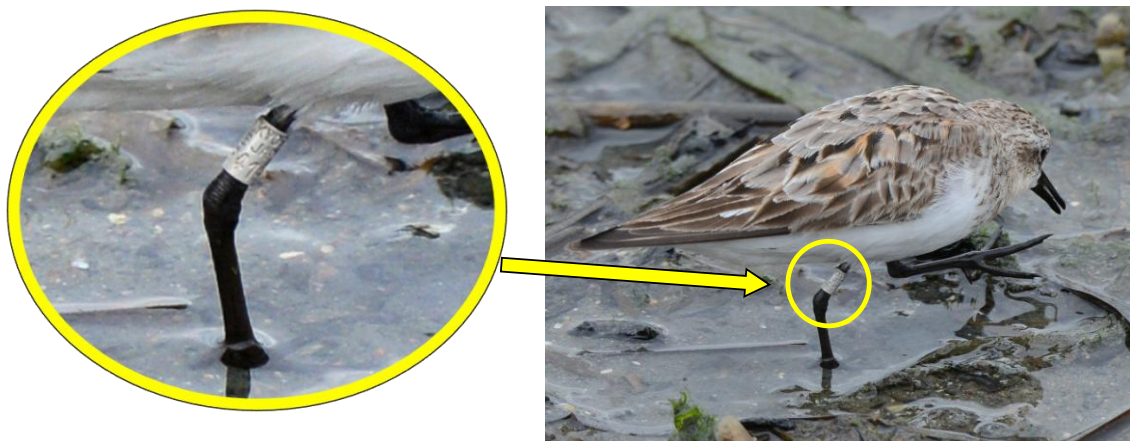
【広島・呉】 I: 4 件 , II: 0 件 , III: 0 件

ミソゴイ	1	4/30	大津 (報告者: 西村)	休息 【地域名+禁繁殖】
クロツグミ	♂1	7/9	西村 安芸郡 熊野町 一	
キビタキ	4	7/24	西村 安芸郡 熊野町 飛翔	
ハチクマ	♂1♀1	8/2	西村	採餌 【地域名+禁繁殖】

【福山・尾三】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 3 件

クロツラヘラサギ	1	8/6	渡辺 福山市	初列風切り先端部が黒い等、クロツラヘラサギの若鳥と判明。河口干潟で採食。満潮時は他のサギ類と一緒に貯木場で休息。短い滞在。当地では極めて稀。
オオメダイチドリ	3	8/23	渡辺 福山市	満ち潮に押されて、オオメダイチドリの幼鳥3羽が接近。カニを追いかけて捕食。当地では、主に秋の渡りの時期に観察されているが稀で、3羽の記録はない。
トウネン	7	9/2	渡辺 福山市	

採餌中のトウネン7羽を観察したが、その内、夏冬中間羽の成鳥が2羽、幼鳥5羽であった。成鳥1羽には、右足上に足輪が装着されており、「KYO JA 41」と刻した記号が確認できた。この個体は、山階鳥類研究所鳥類標識センターの調査から、2011年8月28日に、北海道網走市北浜涛沸湖で、標識放鳥された10羽の幼鳥の内の1羽と判明した。



【東広島・竹原】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 0 件

【芸北】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 0 件

【備北】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 0 件

- ◆ここに掲載されたものは野鳥情報カードからの抜粋です。無断転載等は固くお断りいたします。
- ◆掲載されたものが必ずしもそのまま公式記録になるわけではありません。ご了承ください。
- ◆野鳥情報カード I・II は事務所へ郵送、野鳥情報カード III は BCL06644@nifty.com へメール添付してお送りください。
- ◆新市町村名が分からない場合は、旧名称で記載してください。

■「野鳥情報」提供のお願い■

広島県支部は、その「規約」の第三条第三項にあるように、活動の目的の一つに「広島県を中心とした区域の野鳥の生態調査とその保護」をたからかに謳い、長年、会員の皆様のご協力によりその活動を深めてまいりました。

具体的には、今号に案内と速報を掲載している全県レベルで実施する「ガンカモ調査」と「シギチ調査」があり、毎年会員の努力で貴重な野鳥生息情報が蓄積されています。

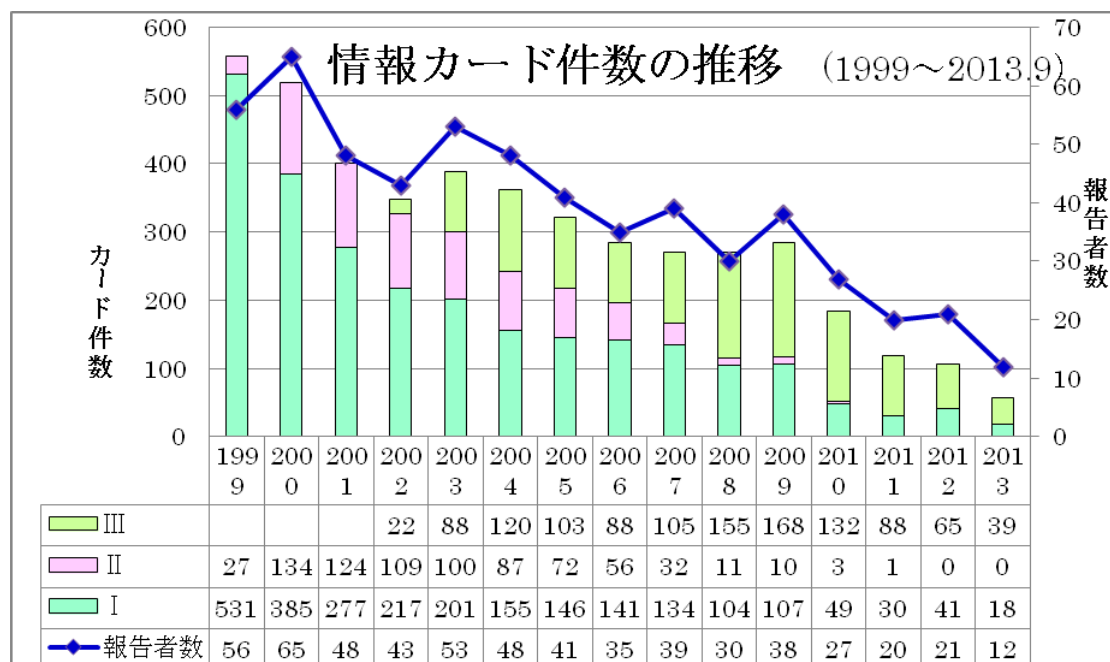
そして、広島県支部にはもうひとつ、「誰でも、いつでも、どこでも、何回でも」参加でき、しかも非常に重要なデータを蓄積する事業があります。

それが「野鳥情報」収集の取組みです。

「野鳥情報」とは、希少種や珍鳥の情報、あるいはめずらしい生態の報告ではなく、皆さんの生活の中にある野鳥達の生息状況を記録として残すものです。

本紙に連載していただいている中崎さんのエッセイにもありますように、普通種と我々が思いこんでいる「スズメ」や「コサギ」の情報こそ、お寄せいただきたい情報なのです。

下記のグラフは、1999年以降の野鳥情報カードの提出件数と、その報告者数の推移を表したものです。カード数・報告者数ともに激減していることを読みとっていただけることと思います。



県支部が集約し、データとして整理しているのは下記の内容です。日常の野鳥観察の際に、情報項目を意識してメモを残していただけませんか？

■「野鳥情報」項目（※印は必須）

- ※ ①年月日（分かれば時間も）
- ※ ②場所（できるだけ詳しく）
- ③天候
- ※ ④観察者、報告者（観察者と同じなら省略可）
- ⑤連絡先（会員の方は不要）
- ※ ⑥種名
- ※ ⑦総羽数（分かれば♂、♀、幼鳥、ひな）
- ※ ⑧状況

そして、時間のある時に下の方法で県支部まで情報をお寄せください。

■野鳥情報の提出方法

1、郵便・FAXにて県支部事務所宛て送付

提出書式は、同封の「情報カードⅠ」「情報カードⅡ」。もしくは上記内容のメモ。

2、E-mailにて

上の「1」「2」書式を添付、もしくはメールに「記載内容」を記入して、

次のアドレスまで送付。

BCL06644@nifty.com

3、県支部 HP から

「県支部 HP トップ」→「野鳥情報」→「情報カードⅢ」

ダウンロードした書式に記入して、上記アドレスへメール送付。

4、図書館開館日に、支部事務所への持ち込み（鍵付きのポストあり）

野鳥情報収集は、「記載項目」のデータを元に野鳥の生息状況の変化・変遷を記録するだけではなく、長い目で見た広島県内の自然環境の変化を把握することも目的の一つとしています。観察地の自然環境や観察時の状況など、種名・個体数などのデータと共にお願いします。

また、四季に渡る変化や行動など、ご自分のフィールド記録を年に何回かでも、まとめてご提供いただいても構いません。最低限の項目（※印）が満たされていれば登録可能です。是非皆様のご協力をお願いします。（光本 記）

貴方の観察した野鳥達の永遠を願い、貴方の情報提供をお待ちしています。

連絡会報告

9月連絡会

日時 9月7日(土) 18:30~20:30

出席 福本、井町、光本、倉岡、中崎、大西、
高橋、堀江

欠席連絡(三好、今橋、藤井、日比野)

1. ナトリ-愛鳥基金助成申請(福本)
全国への「タカ丸くん君配布事業」申請を
昨年不採用になったが、今年度再申請する。
2. 入会促進の取組について(福本)
事務所ドアに設置した「入会パンフ」持ち
帰り2か月で20部あり。ドアに掲示された
入会案内を修正掲示する。「野鳥図書館」
をアピールした掲示もする。
3. カワウ対策協議会講演会報告(福本)
8月29日午後、中区水産会館で開催。支部
から福本・日比野・大西の3名が参加。講
師はバードリサーチ高木憲太郎氏。カワウ
の生態と繁殖制限の必要性等について講
演。水産関係者、市町村担当者多数が参加。
4. H26年度カワウ調査の受託について(福本)
広島県が行う調査を支部が受託すること
について承認。駆除一辺倒にならないため
調査に支部が参画しておく必要性あり。
なお、調査は広島県から委託費が支払われ、
会員(調査員)の調査経費に充当する。
5. 府中北小学校「総合学習」協力(大西)
昨年教員への野鳥観察レクチャーに引き
続き今秋、3年生児童30名への体験学習を
実施する。ウィークデー午前中2時間。
6. 広島城探鳥会の定例化について(倉岡)
倉岡、福本、大西、高橋の4名の担当者
で協力し定例化する。平成26年度から各
月(偶数月)第1土曜日を予定。
7. 清掃探鳥会
9月16日(月・祝)公民館・町内会・小学
校へ広報済。プレスリリースは9日予定。
復建調査設計、コ-ワ光学の協力あり。参加
記念品「立体マスク」、光学機器デモ。コ-
ワ製双眼鏡18台購入し当日貸出を行う。

10月連絡会

日時 10月5日(土) 18:30~19:40

出席 光本、中崎、井町、大西、高橋、藤井、
日比野

欠席連絡(福本、倉岡、今橋、堀江)

1. ナトリ-愛鳥基金申請(福本:資料により)
「タカ丸くん配付事業」を今年は申請額を
減額し補助金申請をする。
2. 連携団体全国総会出席(福本:資料により)
11月9-10日千葉幕張で開催。支部長出席。
3. 探鳥会保険加入状況アンケート(光本)
本部からのアンケートに回答する。探鳥会
担当・役員用賠償保険は、新年度役員決定
後に加入する予定。
4. 事務所備品購入報告
テプラ他
5. 平成26年度カワウ調査について(藤井)
10月4日に広島県から支部長が説明を受け
た。主な調査内容は、夕方ねぐら入り時間
2時間の羽数カウントとコロニー繁殖調査。
コロニーおよび50羽以上のねぐらを、年3
回(7月、12月、3月)調査し調査報告書
にまとめ年度末に報告する。
6. 森の新聞への広告掲載について
コ-ワ光学製品広告を「森の新聞」掲載す
ることについて。掲載することにおおむね
好意的。次回継続して話合う。
7. 会計幹事報告(倉岡:メモにより)
三菱UFJ信託銀行の預金口座名義状況
8. 府中北小学校「総合学習」協力(大西)
10月29日8:45-10:20体験学習に対応。
福本、井町、今橋夫人、大西会員が担当。
9. 清掃探鳥会参加者から報告
広島県側の協力が大きく清掃効果が上が
った。70名弱参加。中国新聞記事掲載あり。
10. 11-12月行事調整(光本:資料あり)
初級講座開催を連続する等。
11. 森の新聞(光本:資料あり)
原稿締切19日、21日提出、26日仕上り。
12. 支部会員個人情報情報は慎重に取扱うことを、
確認した。

徳村さん 脇田さん 荒木さん 長澤さん 太古さん

- ★新聞が届かない場合は、早めにご連絡下さい。
- ★住所変更は支部・本部両方にご連絡下さい。
(支部ですませたい方は「本部へ連絡を」と注記を)
- ★継続会費納入が4か月滞ると、会報の発送が止まります。

GATHERING CALL ～ 編集後記

- 10月で8名のチームから外れ、1人仕事に。パソコン作業が増え、視力が大幅ダウン。
鳥見たい…情報カード少ない…涙(酒井)
- 芦原にノビタキが通過し、ヒドリガモの可愛い声が河口から賑やかになりました。(石川)
- 冬、到来、季節の鳥を見ましょう楽しみましょう。(日比野)
- 呉地区の大先輩から引き継いだ「BW 初級講座」は第10回で終了します。初心者が自分一人でも鳥見を楽しめるようになっていただけるよう、実は自らが初心者の域を出ない担当者をご案内してきました。次はだれが「BW 中級講座」を開講してくれないかしら。私が一番に弟子入りするから…。(光本)

※表紙写真～タゲリの群翔 2012.10.31 笠岡湾干拓地

▽▽ 事務所と野鳥図書館 ▽▽

開館時間 土曜・日曜

14時～17時

*支部へのお問い合わせはメール・電話で。

電話は開館時間のみ対応できます。閉館時は

留守番電話をご利用ください。(FAX、可)

*メールは、BCL06644@nifty.com

もしくは、m_komoto@nifty.com まで

*次回「森の新聞」の作業予定は

12月15日(日)原稿締切 29日(日)発送作業

担当:光本 090-4694-8632

事務所当番

(11月)

2(土) 才峠	3(日) 福本
9(土) 図書館部	10(日) 休館日
16(土) 福本	17(日) 日比野
23(土) 倉岡	24(日) 福本
30(土) 大西	

(12月)

	1(日) 図書館部
7(土) 才峠	8(日) 福本
14(土) 福本	15(日) 休館日
21(土) 大西	22(日) 倉岡
28(土) 福本	29(日) 光本

日本野鳥の会広島県支部 & 野鳥図書館

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目9-3 小田ビル 1F

TEL/FAX 082-233-7304

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html

